

若者活躍支援の取組について

1 現状

- 「岩手県人口ビジョン」(R2.3月改訂)によると、18歳の進学・就職期、22歳の就職期における社会減が、特に東京圏を中心に顕著となっている。
- 東日本大震災津波からの復旧・復興にあたり、多くの若者が、まちづくりやNPO、ボランティア活動などで活躍している。
- 県の青少年の健全育成に関する意識調査(H30)によると、5割以上の青年が、若者が企画するプロジェクトへの参加に関心を示しているものの、自分で企画運営して行事やボランティア活動を行いたいと考える青年は20%前後にとどまっている。
- 沿岸では、首都圏の大学と地域連携協定等を結び、地域の若者が、様々なアイデアを共有しながら、地域課題の解決に向けた活動を行っている。

2 課題

- 若者の地元志向を踏まえ、人口減少に歯止めをかけるためにも、多様な分野で若者が活躍できる環境づくりが必要。
- 多様な分野で若者が活躍できるよう若者同士が交流できる場の創出とネットワーク形成促進等の取組が必要。
- 若者活躍支援拠点としての「いわて若者カフェ」の認知度向上とサポート体制の強化が必要。

若者活躍支援の必要性

- ☞ 人口減少社会を迎え、斬新なアイデアや溢れるエネルギーなどのポテンシャルを有する若者が、地域に目を向けながら、まちづくりや地域課題の解決等に向けて中心的に携わっていくことが期待される。
- ☞ そのような若者による主体的な活動が活発化することで、持続的な地域づくりのみならず、地元定着やU・Iターンの促進、地域の担い手の確保、人材育成などの効果も期待される。

☞ 多様な分野で活動している若者のネットワークを形成し、つながった仲間との交流を通じて、若者の主体的な活動が実現されるようサポート(若者活躍支援)を行っていくもの。

3 対応の方向性

- 若者間の交流とネットワークづくりの促進
- 情報発信の強化
- 若者団体自らが実施する地域課題解決等の取組の支援(人的支援・金銭的支援)

4 令和2年度の具体的な取組

☆いわて若者カフェの運営

【運営方法】委託(イベント企画・実施、活動交流スペースの運営)
 【利用対象】いわて若者ポータルサイト(コネクサス)の登録団体・個人
 【開館時間】火曜日～土曜日 15時～21時

【機能】

- ①若者同士の交流と情報交換の場
- ②若者団体の情報発信(ミニスタジオ)
- ③若者の活動を支援する人材の配置(カフェマスター、サポートスタッフ)

【イベント等】

- ①カフェミーティング
- ②若者交流ミーティング
- ③わいわいトーク(ニコニコ生放送)
- ④情報誌の発行



☆若者の発表・交流イベントの開催

【趣旨】多様な分野で活動する若者が交流・意見交換することにより、地域における主体的な活動の活性化につなげるもの。

【内容】いわてネクストジェネレーションフォーラム2020

- ①ステージ発表
- ②ブース展示
- ③知事と若者とのトークセッション等

【時期・場所等】

R2.11.7(土)～11.8(日)
 プラザおでって、オンライン動画配信



☆若者の活動に対する資金面での支援

【概要】地域課題の解決や元気創出に資する独創的、先進的な事業を実施する若者グループに対して補助金を交付するもの。

【募集事業】

- (1) いわて若者アイデア実現補助(募集:上限額30万円×10件)
 - ①被災地のまちづくりなど、本格的な復興につながる事業(震災復興分野)
 - ②地域課題の解決など、地域の活性化につながる事業(地域づくり一般分野)
- (2) 若者文化振興事業費補助(募集:上限額100万円×4件)
 文化芸術活動に取り組む若者の発表や相互交流の場となる文化芸術イベント等を開催する事業

【募集期間】(例年ベース)

- (1) いわて若者アイデア実現補助 ～5月末
 - (2) 若者文化振興事業費補助 ～5月末
- ※ R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた取組を支援しています。

☆若者交流ポータルサイト(コネクサス)の運営

【概要】いわての若者情報や行政からのお知らせを集約。

若者団体の発信拠点・交流の場として岩手県が運営する公式サイト

【運用状況】

- ①団体登録者数 R2.12.1現在:94団体
- ②「特集記事」の連載による若者の活動等の紹介(年12回)
- ③SNSを使用した情報発信
 Twitter及びFacebookによる情報発信の実施(随時)
- ④若者団体、行政からのお知らせ(随時)

